



地域の方の畑で収穫体験させていただきました

本校には、校庭がないため土に触れる機会がないと、学校運営協議会でお話をしたところ、地域の方から野菜の収穫をしに来ないかとお誘いを受けました。児童のほとんどが野菜の収穫の体験をしたことがなく、文化祭で取り組んだ「大きなかぶ」の劇もかぶが土の中であってそれを「うんとこしょ」といって抜く、ということもピンとこない様子だったこともあり、是非ということで10月下旬の良く晴れた日に小学部のⅡグループ(知的代替の教育課程)の児童全員で車いすで出かけていきました。



車いすのままでは畑の中に入ることができないため、ブルーシートを敷いてハイハイができる児童は自分が収穫したいものまで移動し、他の児童も希望の野菜のところまで教職員が抱っこで連れて行きました。収穫したいものを自分で決めて自分で収穫。ニンジンを抜いたり、ブロッコリーをとったり、ネギを抜いたり…全員が満面の笑みでした。取らせていただいた野菜は、各自家に持ち帰り保護者に調理してもらったそうです。翌日おいしかったとみんなが自慢してくれました。本当にありがとうございました。



地域の方と昔遊びをしました

2月14日(火)、藤沢公民館で活動している「はつらつ^{えぞもり}狄森会」の方々が小学部のⅡグループ(知的代替の教育課程)の児童に昔遊びを教えに来てくれました。

最初に狄森会の会長さんが鬼になってくれて「だるまさんが転んだ」を行いました。どんどん楽しくなって15分以上盛り上がりました。

次に高学年団と低学年団の2手に分かれてのお手玉遊びを行いました。高学年団は、狄森会の皆さんが考えてきてくださったお手玉入れゲームで遊びました。最初はなかなか



かうまくお手玉をコントロールできませんでしたが、どんどん上手になっていきました。低学年団は、まだまだ投げることが上手にできないので、輪になって隣の人にお手玉を渡すゲームをしました。どんどん工夫を重ね、1個だったお手玉が複数になるだけでなく、音楽がストップする時にお手玉を持っていた人は、自己紹介をするルールになって、お互いがもっと仲良くなることができました。昔ながらのお手玉遊びも披露していただきました。片手でポンポンとリズムよく上がる二つのお手玉を操る様にみんな拍手喝采です。



最後にあやとり遊びをしました。低学年団は、狄森会の方にやって見せてもらいました。目の前でほうきやタワーなどどんどん繰り広げられる一人あよりの技にみんな口をあぐり。感動の拍手が湧きました。高学年団は、自分であよりのほうきを作ってみることに挑戦しましたが、悪戦苦闘。教えてくださる方も汗だくになりながらなんとか成功しました。最後は、子どもたちから感想発表があり、感謝の言葉で終わりました。子どもたちが楽しかったと口々に言っていたことも嬉しかったのですが、それ以上に狄森会の皆さんが口々に「とても楽しかった」と言ってくれたことに感動しました。またいらしてください。お待ちしております。

